

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年2月9日(2012.2.9)

【公表番号】特表2011-528529(P2011-528529A)

【公表日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-046

【出願番号】特願2011-518702(P2011-518702)

【国際特許分類】

H 04N 7/32 (2006.01)

【F I】

H 04N 7/137 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月16日(2011.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

H . 2 6 4 / A V C に準拠したビデオ信号を送信する方法であって、

S V C (S c a l a b l e V i d e o C o d e d) 信号の第1スケーラブルレイヤであって、前記S V C 信号の第2スケーラブルレイヤの関連するd e p e n d e n c y _ i d 値未満の関連するd e p e n d e n c y _ i d 値を有する前記第1スケーラブルレイヤをチャネル変更レイヤとして選択するステップと、

前記S V C 信号の少なくとも一部について、前記第1スケーラブルレイヤのランダムアクセスポイントと前記第2スケーラブルレイヤのランダムアクセスポイントとが異なるアクセスユニットにおいて出現するように、前記S V C 信号を提供するため前記ビデオ信号をスケーラブルビデオ符号化するステップと、

前記S V C 信号を送信するステップと、
を有し、

前記スケーラブルビデオ符号化するステップは、前記第2スケーラブルレイヤより前記第1スケーラブルレイヤにおいてより多くのランダムアクセスポイントを提供する方法。

【請求項2】

前記スケーラブルビデオ符号化するステップは、前記第1スケーラブルレイヤのランダムアクセスポイントと前記第2スケーラブルレイヤのランダムアクセスポイントとが符号化効率の関数として異なるアクセスユニットにおいて出現するように、前記ビデオ信号を符号化することを決定するステップを含む、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記第1スケーラブルレイヤは、前記S V C 信号のベースレイヤである、請求項1記載の方法。

【請求項4】

ランダムアクセスポイントは、I D R (I n s t a n t a n e o u s D e c o d e r R e f r e s h) スライスである、請求項1記載の方法。

【請求項5】

チャネル変更を実行するため装置において用いられる方法であって、各スケーラブルレイヤがd e p e n d e n c y _ i d 値に関連付けされる複数のスケーラブルレイヤを有する、H . 2 6 4 / A V C に準拠するS V C (S c a l a b l e V i

`deo Coded`) 信号を受信するステップと、

前記チャネル変更の実行に関するスケーラブルレイヤのランダムアクセスポイントと前記複数のスケーラブルレイヤの残りのランダムアクセスポイントとが前記受信した SVC 信号の異なるアクセスユニットにおいて出現するように、前記チャネル変更の実行に関するスケーラブルレイヤに対して復号化を設定するステップと、

ランダムアクセスポイントに対して前記受信した SVC 信号のアクセスユニットをチェックするステップと、

前記ランダムアクセスポイントと最も大きな `dependency_id` 値とを有するスケーラブルレイヤにおける符号化されたビデオを復号化するステップと、
を有し、

前記チャネル変更の実行に関するスケーラブルレイヤは、その他のスケーラブルレイヤより多くのランダムアクセスポイントを有する方法。

【請求項 6】

前記チャネル変更の実行に関するスケーラブルレイヤは、前記 SVC 信号のベースレイヤである、請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

ランダムアクセスポイントは、 IDR (Instantaneous Decoder Refresh) スライスである、請求項 5 記載の方法。

【請求項 8】

第 1 スケーラブルレイヤと第 2 スケーラブルレイヤとを有する、 H.264 / AVC に準拠するビデオ符号化信号を提供するスケーラブルビデオエンコーダと、

前記ビデオ符号化信号を送信する変調手段と、
を有する装置であって、

前記第 1 スケーラブルレイヤは、前記第 2 スケーラブルレイヤの関連する `dependency_id` 値未満の関連する `dependency_id` 値を有し、

前記ビデオ符号化信号の少なくとも一部について、前記第 1 スケーラブルレイヤのランダムアクセスポイントと前記第 2 スケーラブルレイヤのランダムアクセスポイントとは異なるアクセスユニットにおいて出現し、

前記スケーラブルビデオエンコーダは、前記第 2 スケーラブルレイヤより前記第 1 スケーラブルレイヤにおいてより多くのランダムアクセスポイントを提供する装置。

【請求項 9】

前記スケーラブルビデオエンコーダは、前記第 1 スケーラブルレイヤのランダムアクセスポイントと前記第 2 スケーラブルレイヤのランダムアクセスポイントとが符号化効率の関数として異なるアクセスユニットにおいて出現するように、前記ビデオ信号を符号化する、請求項 8 記載の装置。

【請求項 10】

前記第 1 スケーラブルレイヤは、前記ビデオ符号化信号のベースレイヤである、請求項 8 記載の装置。

【請求項 11】

ランダムアクセスポイントは、 IDR (Instantaneous Decoder Refresh) スライスである、請求項 8 記載の装置。

【請求項 12】

各スケーラブルレイヤが `dependency_id` 値に関連付けされる複数のスケーラブルレイヤを有する、 H.264 / AVC に準拠する SVC (Scalable Video Coded) 信号をチャネルから提供する受信機と、

ランダムアクセスポイントと最も大きな `dependency_id` 値とを有する前記受信された SVC 信号の従属レイヤにおいて符号化されたビデオを復号化するプロセッサと、
を有する装置であって、

1 つのスケーラブルレイヤがチャネル変更の実行に関連付けされ、

前記チャネル変更の実行に関するスケーラブルレイヤのランダムアクセスポイントと前記複数のスケーラブルレイヤの残りのランダムアクセスポイントとが、前記受信した S V C 信号の異なるアクセスユニットにおいて出現し、

前記チャネル変更の実行に関するスケーラブルレイヤは、その他のスケーラブルレイヤより多くのランダムアクセスポイントを有する装置。

【請求項 1 3】

前記チャネル変更の実行に関するスケーラブルレイヤは、前記 S V C 信号のベースレイヤである、請求項1 2 記載の装置。

【請求項 1 4】

ランダムアクセスポイントは、I D R (I n s t a n t a n e o u s D e c o d e r R e f r e s h) スライスである、請求項1 2 記載の装置。